

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

## ⑪ 公開特許公報 (A)

昭62-198378

⑫ Int. Cl. 4

A 24 D 3/04  
1/04  
A 24 F 13/06

識別記号

厅内整理番号

⑬ 公開 昭和62年(1987)9月2日

7329-4B

7329-4B

8114-4B

審査請求 未請求 発明の数 2 (全3頁)

⑭ 発明の名称 フィルターとフィルター付き煙草

⑮ 特 願 昭61-38275

⑯ 出 願 昭61(1986)2月25日

⑰ 発明者	高 津	和 夫	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 発明者	高 津	教	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 発明者	高 津	政 幸	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 発明者	高 津	賢	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 出願人	高 津	和 夫	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 出願人	高 津	教	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 出願人	高 津	政 幸	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 出願人	高 津	賢	東京都府中市美好町2丁目27-43

## 明細書

## 1. 発明の名称

フィルターとフィルター付き煙草

## 2. 特許請求の範囲

- (1) 油体を含浸させた吸油材外周に防水被膜を設けた筒状カラセルと、フィルター本体とが同心的に並べられ、その外周に先端部が斜けられたことを特徴とするフィルター。
- (2) 先端部が紙、防水紙、またはハイドロフィルムであることを特徴とする、特許請求の範囲第1項記載のフィルター。
- (3) 油体が水、香料、甘味料、華油のうちの1または2以上で構成されてることを特徴とする、特許請求の範囲第1項及び第2項記載のフィルター。
- (4) 油体を含浸させた吸油材外周に防水被膜を設けた筒状カラセルと、フィルター本体とが同心的に並べられ、その外周に先端部が斜けられたフィルターが、煙草本体の一側に一体的に取付けられたことを特徴とする、フ

イルター付き煙草。

(5) 先端部が紙または防水紙であることを特徴とする、特許請求の範囲第4項記載のフィルター付き煙草。

(6) 油体が水、香料、甘味料、華油のうちの1または2以上で構成されてることを特徴とする、特許請求の範囲第4項及び第5項記載のフィルター付き煙草。

## 3. 発明の詳細な説明

この発明は煙草の味をよくしたり、ニコチンを障害させることが目的なり。或いは禁煙用にも利用することを指向するフィルターと、フィルター付き煙草に関するもの。

タール、ニコチン、一酸化炭素は煙草の中でも最も元氣といわれてあり、喫、瘦、ガン等の原因となる他、末梢血管を收縮させて心臓血管や胃に悪影響を及ぼし、或いは全身的酸素不足を招くこと等は衆知のことであるが、強力な習慣性を有するため喫煙者が禁煙あることは至難である。

この発明は、禁煙用に利用することができたた  
り、ニコチンセタールを降ろすことができるた  
り、或いは味をよくすることができる多機能的  
フィルターと、フィルター忤き煙草を提供する  
ことを目的とするものであつて、上記目的に沿  
うこの発明のフィルターは、液体を含浸させた  
吸液材外周に防水被膜を設けた筒状カプセルと  
、フィルター本体とが同心的に並べられ、その外  
周に裏面層が設けられたことを特徴とし、  
この発明のフィルター忤き煙草は、上記フィル  
ターと、煙草本体の一側に一体的に取付けられ  
てあることを特徴とする。

以下二の発明の実施例を添付図面を参照して  
詳細に説明する。

第1圖はカプセルAの例を示し、カプセルAは  
液体を含浸させた吸液材(紙維集合体や海绵の  
ような多孔質体)1の外周に防水被膜2を設け  
たものであり、カプセルAの防水被膜2には、カプ  
セルBに示されるように防水被膜2の内面に砂や  
金属等の粒子(片状もよい)3を固定してある

ランナー、ウイスキー等の香料、黒砂糖等の  
甘味料、日本吹吸煙草等の毒液のうちの1または  
2以上が單体で、或いは混合物として使用  
される。

この発明のフィルターは上記カプセルとフィ  
ルター本体が同心的に並べられ、その外周に裏  
面層が設けられたものであるが、カプセルAの例  
についてカプセルAを用いたフィルター忤き煙草  
を例にとり、フィルターとフィルター忤き煙草  
について説明する。

第2圖は煙草本体(実施例では紙巻煙草)6  
にフィルター5を取り付けたフィルター忤き煙草  
3例を示し、煙草7のフィルター5は、カプセル  
Aとフィルター本体4を同心的に並べ、その外周に紙を巻いて糊付けしたものである。カ  
プセルAの土を複数つまんで押圧しながらもよ  
く、その防水被膜2が破れて液体が漏出し、煙草  
に火を付けて吸うと、液体が水であれば水煙草  
のようないずれを吸って水にニコチンセタール等  
が溶け出され、香料であれば香氣を発してこれが

てもよく、カプセルCのように、防水被膜2外  
面に粒子3を固定しておいてもよく、カプセル  
Dに示されるように防水被膜2の内外面に粒子  
3を固定しておいてもよい。粒子3を防水被  
膜に固定するものは、フィルターを指してまんべ  
押圧しづらさをとこと、防水被膜2を破壊せよ  
くするためであり、尚カプセルは例れても筒状  
に形成され、その製造は、吸液材に液体を含浸  
させたあと、その外周に溶解した熱可塑性物質  
を吹きつけて外周被膜を形成し、冷却して防水  
被膜としたり、防水紙を防水フィルムと吸液材  
の外周に巻いて糊付けし、切断して両側の  
端面を防水処理したり、防水被膜が熱可塑性物  
質であれば、吸液材外周に巻いた状態で切断部  
位を熱圧着がて切断するなど等によりつくさ  
とがでる。ハサウエ、直角ハサウエ等によりつ  
くことがでる。尚直角ハサウエ等の場合は吸  
液材に含浸した液体を2層りせて直角ハサウエ等  
ことが好ましい。また吸液材に含浸される液体  
には、水、ハサウエ三十九モニ、パラト、ホル、ジ

ビ、華液等あれば華効を期待することがで  
る。尚火が煙草本体のフィルター忤りに近づく  
と、漏出して拡散した液体により火は消え  
る。図示のカプセルAは左側に配設されてもよ  
く右側に配設してもよく、この場合は消火作用は  
全く期待できないが、香料等を発してことがで  
る。尚フィルター5は煙草7に取付けるよう  
に、両側のフィルター本体4、4間にカプセルA  
を配設したものであつてもよく、煙草7のよう  
に3個のフィルター本体間に2個のカプセルが  
配設されたものであつてもよい。複数のカプセル  
を設けたものは複数の効率例えは水煙草の効  
率と香料を発して効率を得る。即ちフィルター  
には1または複数のカプセルを設けることがで  
る。尚フィルターの表面層は紙であつてもよ  
く防水紙或いはプラスチックフィルム等の防水  
層であつてもよい。防水層は煙草本体6のフィ  
ルター5忤りにも設けることがでる。

以上フィルター忤き煙草については説明したが  
この発明のフィルターはハイフにも利用するこ

とかげでさる。

第3回は、ハイフ本体4内にフィルター本体4、カバセルA、フィルター本体4と順次挿入し、吸口7aをハイフ本体4に着脱自在に内部停止したハイフ形状のフィルター1例を示し、ハイフ本体4の他側には煙草差し込み口7aが形成され、煙草差し込み口7aは通氣孔7bを介してハイフ本体4内に連通していき、そしてハイフ本体4は抜イフする人が押す3と凹モールド構造7cがつくりられており、ハイフ本体4を押すつまつんで押圧しながらもあと、カバセルAの防水被膜が破れ、内部の液体が拡散する。そして煙草差し込み口7aの煙草を差し込み火をつけて喫煙する。いわばフィルター1側の煙草のフィルターと煙草を着脱自在としたようなものである。カバセルAはフィルターを連結するこことよりせみの各所を挙げたり要約を期待することができる。

この発明が1実施例に使用したものまたは方法が他の実施例に適用であれば、單旨古事記の範囲内で他の実施例に使用し、利用し、若

しくは応用しえることができる。

この発明は前記のように構成され、煙草の吸い易くしたり、ニコチン等を除去するこことがモチアリ、フィルター1側にいたつこは煙用に利用できる等、多くの効果を有する。

#### 4.回路の簡単な説明

第1回はカバセル4例の断面図、第2回はフィルター1側の断面図、第3回はフィルター1例の断面図である。

特許出願人

高津和夫

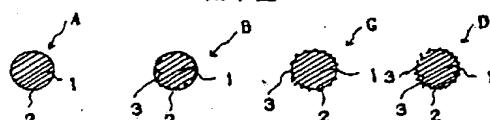
高津重政

高津政平

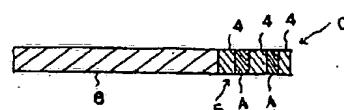
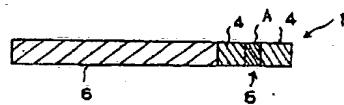
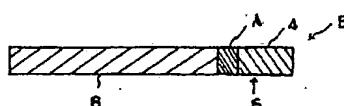
高津賢



第1図



第2図



第3図

